

湯ノ倉温泉地区の現地調査結果を報告します ～本日18時から栗原市役所で記者会見を実施～

- 河道閉塞（天然ダム）湯ノ倉温泉地区において、24日17時頃に越流による土砂侵食が原因と思われる水位の異常低下が確認されたため、国土交通省の砂防専門家による詳細調査を行いました。
- ヘリコプターによる上空からと地上から侵食箇所状況調査を行い、その結果について説明を行います。

【記者会見】

1. 説明者：国土交通省 国土技術政策総合研究所
危機管理技術研究センター 砂防研究室長 おさない のぶとも 小山内 信智
2. 日時：平成20年10月25日（土） 18：00～
（※現地調査の経過により開始が遅れる場合があります）
3. 場所：栗原市役所 2F 庁議室

【湯ノ倉温泉地区の水位状況】

- 10月24日2時から降雨が続き、24日14時にはこれまでの最高水位となる **標高396.7m**まで上昇しました。
（以前の最高水位は、8月24日に記録した **標高396.3m**です。）
- その後水位が1時間あたり0.3m程度低下しましたが、16時50分～17時30分の40分間で約10mの水位低下がありました。
- 25日11時現在の水位は **標高383.3m**です。

今後も河道閉塞（天然ダム）の水位等に注意しつつ監視・観測体制を継続します。

（発表記者会）宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、古川記者クラブ

（問い合わせ先）

東北地方整備局 河川部 流域・水防調整官 平石 進 （内3518）
夜間直通022-227-6005

住所 仙台市青葉区二日町9-15
電話 022-225-2171（昼間）